

令和5年度

水道事業経営専門部会

現在、我が国の地方公共団体の水道事業を取り巻く経営環境は、急速な人口減少等に伴うサービス需要の減少や保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大などにより一層厳しさを増しています。

こうした状況を踏まえ、国は各地方公共団体に対し「経営戦略」「水道広域化推進プラン」等の作成やコンセッション方式をはじめとする一層のPPP/PFIの推進を促していますが、各地方公共団体単独では、専門職員が不足しており、将来に備えた水道事業経営の改革に取り組むことが困難な状況にあります。

そこで、「水道事業経営専門部会」では、公会計の専門家や水道事業関係の民間事業者等と合同で、これからの水道事業経営のあり方について、調査・検討しています。

当部会は、ご関心のある地方公共団体水道部局の方のご参加をお待ちしております。

また、フィールド調査にご協力いただける自治体を募集しております。ご協力いただける自治体は是非、滋賀大学社会連携センターまでご一報ください。

令和5年度調査・検討テーマ

実際のモデル自治体（事業体）における水道業務の棚卸し、財務分析から業務のマニュアル化、DXやBPO導入の可能性整理、必要な職員研修等について提言したい。

会場 滋賀大学彦根キャンパス内 士魂商才館 もしくは オンライン(Zoom)

対象 地方公共団体(事業体)の水道部局の職員等

参加費 無料

主催・コーディネーター：滋賀大学 経済学部 教授・社会連携センター長 横山幸司

協力：株式会社日水コン